

物流の効率アップ！渋滞緩和により物流拠点(名古屋港「飛島ふ頭」)へのアクセス向上！

課題

「桜木大橋北交差点」は、名古屋港最大規模のコンテナ取扱のある物流拠点(飛島ふ頭)への入口に位置する重要な交差点

「交差点の処理能力」を超える交通量により、慢性的に渋滞が発生、貨物輸送のボトルネックとなり、円滑な物流を阻害

(「ふ頭の『取扱貨物量の増加』」「リードタイム短縮」を阻害等)

課題1 ふ頭へのスムーズな物流

課題2 輻輳する車両の交通安全対策

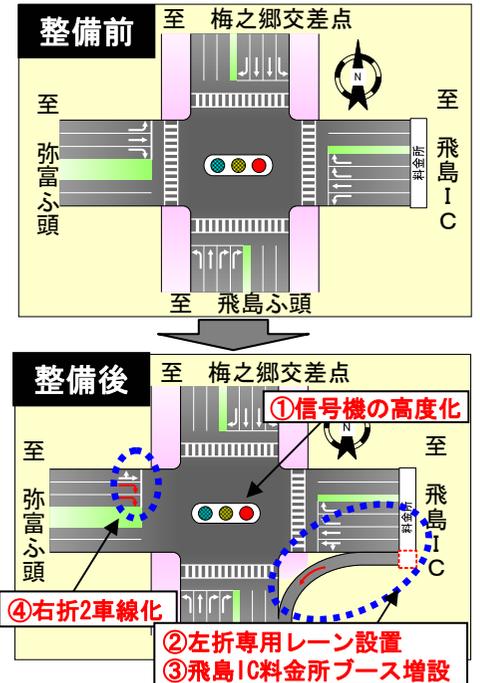


対策

道路管理者、港湾管理者、交通管理者が連携して段階的に整備



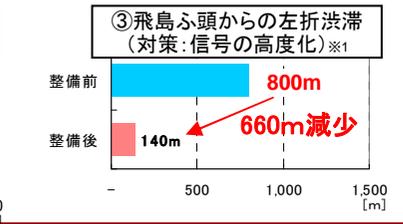
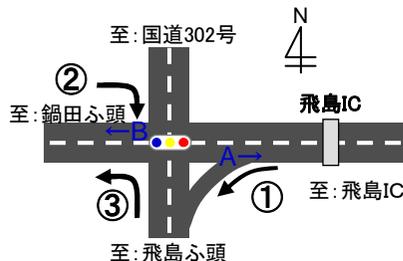
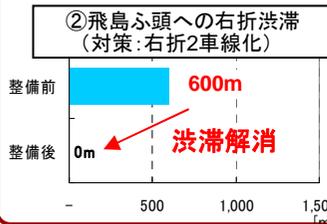
<写真提供>名古屋港管理組合



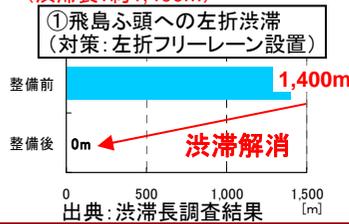
渋滞緩和により、ふ頭へのスムーズな物流が実現



B方面:
○飛島ふ頭へ向かう交通により渋滞が発生(渋滞長:約600m)
○コンテナ輸送車両が多い



A方面:
○伊勢湾岸自動車道から飛島ふ頭へ向かう交通によって、高速道路本線部まで渋滞が発生(渋滞長:約1,400m)



出典:渋滞長調査結果

※1 信号の高度化:複数の信号機を運動させたり、個々の信号機の制御方式を最適なものとしたりするなど、実際の交通状況に応じて、信号機の改良を行うこと。

スムーズな物流が地域の企業活動に貢献！

(企業の声)

- 自動車部品の入荷時間が読めるようになった。そのため、ロスタイムが少なくなり、今後、効率的な配車ができる可能性がある。
- 名港中央-飛島IC間におけるピストン輸送の際、時間の制約があり、渋滞に困っていた。交差点の改良により、所要時間が短縮し、トラックの回転率が向上することが期待される。
- 渋滞緩和により、時間が読めるため移動にかかる負担が減った。
- 料金所ブースを出た後、信号交差点までの短い区間で車線変更による輻輳が発生し危険な思いをしたことがあったが解消され安全になった。

出典:企業ヒアリング結果